

2022年11月実施
第18回
農業簿記検定[®]
③ 級 問 題

注 意 事 項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**1時間30分（90分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から12頁まで印刷**しています。
試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 次の文章の（ア）～（オ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

経営成績は（ア）によって把握することができます。（ア）で計算される利益または損失は、一定期間に得た（イ）から、その（イ）を得るために犠牲となった（ウ）を差し引くことによって明らかにされます。

財政状態は貸借対照表によって把握することができます。貸借対照表の（エ）は資金の運用状態を、（オ）は資金の調達源泉を表します。

【選択肢】

- | | | | | |
|-------------|-------|-------|-----------|-----------|
| 1. ア. 収支計算書 | イ. 収入 | ウ. 支出 | エ. 資産 | オ. 純資産 |
| 2. ア. 損益計算書 | イ. 収入 | ウ. 支出 | エ. 資産 | オ. 負債、純資産 |
| 3. ア. 収支計算書 | イ. 収益 | ウ. 費用 | エ. 資産、負債 | オ. 純資産 |
| 4. ア. 損益計算書 | イ. 収益 | ウ. 費用 | エ. 負債、純資産 | オ. 資産 |
| 5. ア. 損益計算書 | イ. 収益 | ウ. 費用 | エ. 資産 | オ. 負債、純資産 |

問題 2 次の記述のうち、誤っている番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 簿記上の取引は必ず資産の増減を伴う。
2. 複式簿記における取引は必ず「取引の二重性」を充足する。
3. 貸借対照表等式とは「資産＝負債＋純資産」である。
4. 損益計算書等式とは「費用＋当期純利益＝収益」である。
5. 損益計算書の当期純利益は、貸借対照表の当期純利益と一致する。

問題 3

次の勘定に基づくア～エの記述のうち、誤っている記述はいくつあるか、その番号を選びなさい。

普通預金	
9/10	作業受託収入 350,000
9/30	売掛金 2,780,000

売掛金			
9/20	水稻売上高	2,800,000	9/30 普通預金 2,780,000
9/24	水稻売上高	20,000	

水稻売上高			
	9/20	売掛金	2,800,000
	9/24	売掛金	20,000

作業受託収入		
	9/10	普通預金 350,000

- ア. 9月10日に国から補助金350,000円を受け、普通預金に振り込まれた。
- イ. 9月20日にA商店に対し米を販売し、売上代金2,800,000円は後日入金されることとなった。
- ウ. 9月24日にA商店に対して販売した米が搬入の際に破損があったとして20,000円の値引きをし、売掛金の残高から控除した。
- エ. 9月30日に売掛金2,780,000円が普通預金に入金された。

【選択肢】

- 1. 0個
- 2. 1個
- 3. 2個
- 4. 3個
- 5. 4個

問題 4 次の【資料】に基づいて期末の資産総額がいくらになるか、正しい番号を一つ選びなさい。

【資料】

期末の負債総額	3,000,000 円
期首の純資産総額	5,000,000 円
当期の収益総額	8,000,000 円
当期の費用総額	7,000,000 円

【選択肢】

1. 5,000,000 円
2. 6,000,000 円
3. 7,000,000 円
4. 8,000,000 円
5. 9,000,000 円

問題 5 次の文章の（ア）～（オ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

年度末において販売目的のために肥育中の販売用動物は、次年度以降に販売されます。

肥育にかかる費用は、素畜費、飼料費、農薬費などに計上されていますが、これらは（ア）の費用とするルールになっています。そこで、決算において肥育中の販売用動物の生育にかかった費用を把握し、当年度の費用（イ）するとともに、（ウ）勘定を通して次年度に繰り越します。

この場合、費用（イ）する勘定科目は（エ）を使用します。

（ウ）勘定を通して次年度に繰り越された金額は、次年度において費用（オ）します。

【選択肢】

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|-------------|---------|
| 1. ア. 発生時 | イ. に加算 | ウ. 仕掛品 | エ. 期末仕掛品棚卸高 | オ. から減算 |
| 2. ア. 販売時 | イ. から減算 | ウ. 育成仮勘定 | エ. 育成費振替高 | オ. に加算 |
| 3. ア. 販売時 | イ. に加算 | ウ. 原材料 | エ. 期末材料棚卸高 | オ. から減算 |
| 4. ア. 販売時 | イ. から減算 | ウ. 仕掛品 | エ. 期末仕掛品棚卸高 | オ. に加算 |
| 5. ア. 発生時 | イ. から減算 | ウ. 育成仮勘定 | エ. 育成費振替高 | オ. に加算 |

問題 6 次の記述のうち、誤っている番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 農作業用に機械を取得し、運送保険料、試運転費を含めて取得価額とした。
2. 生物勘定は有形固定資産に分類される。
3. 育成中の繁殖牛に使用した費用の額は、当期に成熟に達しなければ、損益計算書に費用として計上する。
4. 生産活動を行っている状態の家畜や果樹は、減価償却の対象となる。
5. 育成仮勘定に計上された家畜や果樹は、成熟に達した時点で生物勘定に振り替える。

問題 7 次の【資料】に基づいて当期の農産物売上高がいくらになるか、正しい番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

- ア. 前年度に掛販売した農産物の代金 180,000 円が普通預金に振り込まれた。
- イ. 農産物を出荷し、売上代金 2,000,000 円から前年度に受け取った前受金 1,000,000 円を控除した残額は後日受け取ることにした。
- ウ. 出荷した農産物に量目不足があったことから 20,000 円の値引きをした。
- エ. 親戚への贈答として農産物 10,000 円相当を贈った。

【選択肢】

1. 990,000 円
2. 1,170,000 円
3. 1,980,000 円
4. 1,990,000 円
5. 2,170,000 円

問題 8 次のア～エの記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

ア. 帳簿価額 400,000 円の繁殖牛を 500,000 円で売却した。なお、売却代金は、J A 手数料の 25,000 円を差し引いた金額が普通預金へ入金された。

(借) 普通預金	475,000	(貸) 生物	400,000
販売手数料	25,000	固定資産売却益	100,000

イ. 帳簿価額 750,000 円の機械を 670,000 円で売却し、代金は普通預金へ振り込まれた。

(借) 普通預金	670,000	(貸) 機械装置	750,000
固定資産売却損	80,000		

ウ. 帳簿価額 150,000 円の搾乳牛を 280,000 円で売却した。なお、売却代金は、J A 手数料の 10,000 円を差し引いた 270,000 円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金	270,000	(貸) 生物売却収入	280,000
販売手数料	10,000		
(借) 生物売却原価	150,000	(貸) 生物	150,000

エ. 帳簿価額 300,000 円の車が不用となり 300,000 円で売却し、現金を受け取った。

(借) 現金	300,000	(貸) 固定資産売却益	300,000
--------	---------	-------------	---------

【選択肢】

1. アイ 2. アウ 3. イウ 4. イエ 5. ウエ

問題 9

次のア～エの記述のうち誤っているものが二つある。その番号を一つ選びなさい。

ア. 田中農場は農業用資材を割安に仕入れるため、A商店に対して資材購入前払い（手付金）として420,000円を普通預金から振り込み支払った。

(借) 貸付金 420,000 (貸) 普通預金 420,000

イ. 決算で棚卸しを行ったところ37,000円相当の軽油が残っていたため、下記の仕訳を行った。

(借) 貯蔵品 37,000 (貸) 動力光熱費 37,000

ウ. 従業員の7月分源泉所得税25,000円を現金で納付した。

(借) 租税公課 25,000 (貸) 現金 25,000

エ. JAから農薬150,000円を購入し、代金は営農借越から支払った。

(借) 農薬費 150,000 (貸) 短期借入金 150,000

【選択肢】

1. アイ 2. アウ 3. イウ 4. イエ 5. ウエ

問題 10～17

次の〔資料1〕および〔資料2〕に基づき××年12月31日現在の残高試算表を作成した場合について、以下の設問（問題10～17）に答えなさい。（決算は年1回、12月31日）

〔資料1〕××年1月1日現在の残高試算表

残 高 試 算 表

××年1月1日

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	782,000	買掛金	1,930,000
普通預金	5,380,000	借入金	7,380,000
定期預金	2,760,000	資本金	18,300,000
原材料	480,000		
建物	6,580,000		
機械装置	7,830,000		
車両運搬具	3,018,000		
出資金	10,000		
経営保険積立金	770,000		
	27,610,000		27,610,000

〔資料2〕稲作農家の××年1月1日から12月31日までに行った取引

1. 稲作部会の新年会に後継者である息子と参加し飲食代20,000円を現金で支払った。
2. 前年末のJA購買の買掛代金1,930,000円を普通預金より支払った。
3. 近隣の兼業農家から今年も稲作に係るすべての業務を委託され、代金2,430,000円が普通預金に振り込まれた。
4. 種苗1,835,000円で購入し、代金は後日払いとした。
5. 米の出荷契約をし、契約金3,500,000円が普通預金に振り込まれた。
6. 肥料2,565,000円で購入し、代金は後日払いとした。
7. 借入金の返済として1,000,000円、利息として65,000円を普通預金より支払った。
8. 農薬830,000円で購入し、代金は普通預金から支払った。
9. 農地の地代として851,000円を普通預金より支払った。
10. 大型コンバイン故障のため、修理代として1,850,000円を普通預金から支払った。
11. 水田転作を支援するための交付金1,030,000円が普通預金に入金された。
12. 米を出荷し、契約金3,500,000円が控除され、14,500,000円が普通預金に振り込まれた。
13. 収入減少影響緩和交付金の積立金として450,000円を普通預金から支払い、経営保険積立金として積み立てた。
14. JAの青色申告部会の研修に参加し、参加費用として2,000円を現金で支払った。
15. 水稻共済掛金84,000円が普通預金より支払われ、費用とした。
16. トラクター、コンバイン等の軽油代560,000円を普通預金から支払った。

残高試算表

××年12月31日

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金		買掛金	
普通預金	(ア)	借入金	(オ)
定期預金		資本金	
原材料		水稻売上高	(カ)
建物		作業受託収入	(キ)
機械装置		作付助成収入	
車両運搬具			
出資金			
経営保険積立金	(イ)		
種苗費			
肥料費			
農薬費			
動力光熱費	(ウ)		
修繕費			
支払地代			
共済掛金	(エ)		
図書研修費			
交際費			
支払利息			
			(ク)

問題 10 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 14,820,000 2. 19,220,000 3. 21,150,000 4. 22,035,650 5. 22,720,000

問題 11 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 770,000 2. 854,000 3. 995,000 4. 1,220,000 5. 1,310,000

問題 12 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 503,000 2. 560,000 3. 851,000 4. 1,850,000 5. 1,930,000

問題 13 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 42,000 2. 84,000 3. 309,000 4. 534,000 5. 854,000

問題 14 (オ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 5,450,000 2. 6,315,000 3. 6,380,000 4. 7,380,000 5. 10,880,000

問題 15 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 3,500,000 2. 14,500,000 3. 18,000,000 4. 19,030,000 5. 21,500,000

問題 16 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 2,430,000 2. 3,460,000 3. 5,930,000 4. 15,570,000 5. 21,460,000

問題 17 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 12,798,000 2. 21,460,000 3. 32,240,000 4. 37,002,000 5. 50,540,000

問題 18～25

次の期末修正事項に基づき精算表を作成した場合について、以下の設問（問題 18～25）に答えなさい。（決算は年 1 回、12 月 31 日）

期末修正事項

- 1) 期末における農産物の実地棚卸高は、180,000 円であった。
- 2) 期末における原材料の実地棚卸高は、340,800 円であった。
- 3) 売掛金の期末残高に対し、5.5%の貸倒れを見積もる。なお、洗替法により処理する。
- 4) 減価償却を税法の定めに従い次のとおり行う。

種 類	取得価額	耐用年数	償却方法	償却率	期首の減価 償却累計額
機 械 装 置	3,500,000 円	7 年	定額法	0.143	1,501,500 円
車 両 運 搬 具	1,800,000 円	4 年	定額法	0.250	900,000 円
器 具 備 品	960,000 円	5 年	定額法	0.200	576,000 円

- 5) 賃借料のうち、158,400 円は農業機械を年払い（月額 13,200 円）で賃借しているもので、2ヶ月分が前払いに相当する。
- 6) 資材置場の敷地として地代の未払い分が 33,000 円あった。
- 7) 賃貸料収入のうち、120,000 円は来期に係るものであった。
- 8) 雑収入 218,000 円を見越し計上する。

精 算 表

××年12月31日

(単位：円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	219,000							
普通預金	4,205,000							
売掛金	920,000							
農産物	290,000						(ア)	
原材料	176,000							
機械装置	3,500,000							
車両運搬具	1,800,000							
器具備品	960,000							
土地	2,000,000							
買掛金		610,000						
借入金		3,200,000						
貸倒引当金		31,800						(イ)
減価償却累計額		2,977,500						(ウ)
資本金		5,000,000						
売上高		16,708,000						
受取利息		2,100						
賃貸料収入		810,000				(エ)		
雑収入		540,000						
種苗費	4,836,000							
肥料費	5,200,000							
農薬費	2,568,800							
賃金手当	2,520,000							
賃借料	264,000				(オ)			
支払地代	363,000				(カ)			
支払利息	57,600							
	29,879,400	29,879,400						
期首農産物棚卸高								
期末農産物棚卸高								
期首材料棚卸高								
期末材料棚卸高								
貸倒引当金戻入								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
前払費用								
前受収益								
未払費用								
未収収益							(キ)	
当期純()					(ク)			

問題 18 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 176,000 2. 180,000 3. 290,000 4. 340,800 5. 410,000

問題 19 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 13,000 2. 31,800 3. 46,000 4. 50,600 5. 76,230

問題 20 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,835,000 2. 4,119,500 3. 4,120,000 4. 4,310,000 5. 5,955,000

問題 21 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 530,000 2. 690,000 3. 777,000 4. 810,000 5. 930,000

問題 22 (オ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 26,400 2. 231,000 3. 237,600 4. 264,000 5. 290,400

問題 23 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 33,000 2. 330,000 3. 363,000 4. 369,600 5. 396,000

問題 24 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 26,400 2. 33,000 3. 120,000 4. 186,000 5. 218,000

問題 25 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 799,600 2. 1,182,800 3. 1,235,600 4. 1,301,600 5. 1,475,600